県政に活力！ 地域にぬくもりを！

長崎県議会議員
やまぐち　はつみ

山口はつみ だより No.16

平成21年1月　発行責任者：山口初實　編集責任者：榮　勇俊

関連質問で「障がい者差別禁止法の早期制定について」質す

同僚議員の一般質問「福祉保健行政について」に関連して質問を行い県の考えを質しました。

質問（山口県議）

障がいのある人に対する配慮は社会の義務である。今世界各国（40カ国を超える）では「障がいのあるひとの差別を禁止する法律」が制定されている。

日本は残念ながら今だ未制定であるが千葉県においては「障がいのある人もない人も共に暮らしやすい千葉県づくり条例」が制定されている。法制定、条例制定に向けて長崎県も早急に取り組むべきであるが。

答弁（福祉保健部長）

障がい者差別をなくすためには、まず障がいのある人に対する理解促進が必要であることから各種広報媒体やイベントなどを通じた啓発。広報活動を行うとともに、福祉思想の醸成を図るための福祉教育の推進等に取り組んでおりますが現在行っている障がい者基本計画の見直しの中でも、今後の方策につきまして十分検討してまいります。

条例の制定に関しましては、現在、国において、障がい者の権利に関する条約の早期締結をめざし、関係法令の整備を急いでいるところであり、その動向を注視するとともに、制定の必要性を含めて、障がい者施策推進協議会をはじめ、幅広く県民の皆様のご意見をおうかがいしながら検討を深めてまいりたいと考えております。

総務委員会報告

振り込め詐欺撲滅に取り組もう！

県内における「振り込め詐欺」被害が増加している。被害状況は11月末までに被害件数272件、被害総額約3億500万円を把握した。

特に融資保証金詐欺が150件で最も多く、ほとんどが銀行振り込みでだまし取られるが新たにエクスパック（郵便）により送金させられたケースも多発している。

被害防止対策の他県の事例導入、金融機関への態勢強化などについて提言を行った。

県庁舎整備については、今まで公式の場で見解を述べていなかったが、長崎大水害の体験（出島から長崎駅に向けて車で進行中、車が浸水し通行できなくなったので県庁坂に避難したことなど）に基づき漁市跡の埋め立て地は現在地と比較した場合水害対策が必要であり十分な検証が必要であることを主張した。

他に、地方機関再編、過疎対策、銃砲刀剣類所持等取締法の一部を改正する法律、宝くじ発売限度額などについて活発に議論を展開した。

県議会 委員会から

県議会は12日、総務、厚生環境、経済労働の3常任委員会を開き、議案や所管事項などの審査を終えた。

宝くじ購入はぜひ県内で

二〇〇九年度の本県の宝くじ発売総額を百二十五億円とする議案について、山口初實委員（改革21）が「最近の売り上げは」と質問した。

村田崇財政課長は「昨年度は約百億円を販売した。県内売り上げの40％が県の収益金となる。収益金は防災ヘリの運航費、道路維持費用、国土保全、国際交流事業などに使っている」と答えた。また、県外で購入する県民もいることから「まだまだPRが不足している。ぜひとも県内で購入してもらえるよう呼び掛ける」と述べた。

総務

2008年12月13日　長崎新聞より

コラム江戸町

県庁舎整備、バイオラボ社の破綻、など県の手法に批判が集中する中、高機能病院の設置についてまたもやその手法に疑問が続出している。

県が長崎市に新市立病院と日赤原爆病院を統合し高機能病院を設置するように要請している問題であるが、批判のポイントは長崎市民病院の建替えについては県が関与して検討を続けて固めてきたきた経緯があるなかで今になって市の計画はおかしいと突然市民病院と原爆病院を統合するように話を持ちかけた迷走や強引な手法にある。

★真のリーダーの条件とは

・真のリーダーは王道をゆく

・私欲をすて、大道に生きる

・リーダーとなっても聞く耳を持つ

形式上のリーダーの地位にある人が、必ずしも真のリーダーというわけではない。と言われているが…。

ご相談はお気軽に！
長崎県議会議員
山口はつみ
事務所：TEL･FAX 0957(43)2800
自　宅：TEL･FAX 0957(44)1003
携　帯：090(2514)9835
E-mail:hatumi@mrh.biglobe.ne.jp

この用紙は再生紙を使用しています。

新年明けましておめでとうございます

皆様方におかれましてはご健勝にて希望の新春をお迎えになられたことと心からお慶び申し上げます。

本年が皆様方に取りまして、幸福な年でありますようにご祈念申し上げます。

今年の干支「丑」とともに
新年のごあいさつ
於　三宅牧場

昨年は皆様にはいろいろとご指導を頂き、県議会議員として2年目を務めさせていただきありがとうございました。

総務常任委員会に席を置き、県の組織や予算のしくみ、地域振興、防災管理、警察本部などについてしっかり勉強をさせて頂き疑問や改善すべき点については積極的に質疑や提言を行ってきました。

また、総合交通・情報網整備促進特別委員会においては委員長として新幹線、航路、空路対策、幹線交通網対策、そして情報網対策について県民の皆様の目線でとりまとめを行っています。

そういう状況の中、長崎県の今年の課題は、先ずは景気雇用対策にあると考えます。

年末に、国の緊急経済対策の遅れを待っておれず、県独自で「中小企業経営緊急安定化対策資金」について制度設定を行ったところです。

契約社員や、派遣社員など非正規労働者の契約打ち切り、新卒者の内定取り消しなどの問題の解決、緊急雇用対策が急務となっています。

併せて、県庁舎整備、高機能病院の設立、地方機関の再編、などが課題であり、更に環境優先の街づくり、合併市町への支援、障害者差別禁止法の制定などに努力を致します。

バイオラボ社破綻に関わる100条委員会においては、原因究明と資金の流れについて速やかに適切に、県民に明らかにする必要があります。

政権交代に向けて、解散総選挙を勝利しよう！

麻生政権誕生に伴い、昨年末には解散総選挙があることを想定して、皆様のお力をお借りしながら準備活動を展開してまいりましたが、麻生内閣の支持率下落に伴い解散総選挙の時期が不透明になってきました。

しかし、いつ何時解散が行われようともびくともしないように体制を整えておき勝利を目指さなければなりません。

1区：高木義明、2区：福田えりこ、3区：山田正彦、4区：宮島大輔の必勝に向け皆様のお力添えを心からお願い申し上げます。

長崎県議会議員　山口はつみ

未来へと夢をつないで育てる緑
第33回全国育樹祭大会テーマ（H21年　百花台公園）

12月定例県議会報告

「中小企業経営緊急安定化対策資金」を議決!!「大学等発ベンチャー創出事業に関する調査特別委員会」（100条委員会）を設置!!

12月定例議会は11月26日～12月17日までの22日間で開催された。今議会の特徴的な議案として、景気がどんどん悪化している中で中小企業が年を越せない状況に立ち至っている。そこで中小企業向けの融資制度について、会期中に2度の補正予算を組み、先ず開会日に金融機関の20億円に加え県負担で30億円の補正を可決し更に閉会日に重ねて30億円の追加補正を行い金融機関と合わせ合計100億円の「中小企業経営緊急安定化対策資金」の予算を成立させた。

これは長崎県独自の政策であり、国の景気対策を待てないための緊急処置である。

一方、国の景気対策の遅れが顕在化しており、麻生政権の無策無能が地方にしわ寄せがきていることに他ならない。

もう1つは県が1億円支出したバイオラボ社が9億円を超える負債を抱え経営破綻した問題で県議会としては「大学等発ベンチャー創出事業に関する調査特別委員会」（100条委員会）を設置し県の関わり及び資金の流れについて調査追及を行うことにした。

主な議案の内容

◆予算議案（6件）

●平成20年度長崎県一般会計補正予算（第2号）他5件

★11月補正予算の概要

○総合対策関係予算
…41億28万7千円

●公共事業費（道路街路、港湾、河川砂防、治山造林）
…29億2,987万7千円

●国直轄負担金（道路、河川砂防）
…6億6,188万円

●県立学校耐震化推進事業費（債務負担）
…1億8,487万5千円

○職員給与費の過不足調整
…△13億1,166万6千円

○その他

●（新）周産期医療確保対策事業費
…3,729万円

●ふ頭用地造成費（港湾施設整備特別会計）
…2,400万円

☆「中小企業経営緊急安定化対策資金」

●当初貸付枠……50億円
（県預託30億円：金融機関20億円）
11月26日議決

●追加貸付枠……50億円
（県預託30億円：金融機関20億円）
12月17日議決

合計……100億円
（県預託60億円：金融機関40億円）

※利用申し込みが殺到し更なる追加補正が求められ総額300億円となる予定。

◆条例議案（14件）

●長崎県個人情報保護条例の一部を改正する条例→統計報告調整法の改正

●職員の自己啓発等休業に関する条例の一部を改正する条例→国際貢献活動

●長崎県の事務処理の特例に関する条例一部を改正する条例→パスポート窓口追加

●長崎県議会委員会条例の一部を改正する条例→現在の6常任委員会を4常任委員会に改正する

〈現〉文教委員会・厚生環境委員会・経済労働委員会・農林水産委員会・土木委員会・総務委員会

〈新〉**総務委員会・文教厚生委員会・環境生活委員会・農水経済委員会**

◆事件議案（24件）

●当せん金付証票の発売について→宝くじ発売限度額を125億円とする

●和解及び損害賠償額の決定について→パトカー対向車線はみ出し損害賠償380万円

●公の施設の指定管理者の指定について→3年経過に伴う新規契約及び契約更改

▼県民ボランティア活動支援センターの管理を行う指定管理者の指定など12議案19施設の指定管理者を認定・議決

▼長崎県勤労福祉会館の指定管理者については不認定・否決

など

◆人事議案（2件）

●長崎県名誉県民の選定について議会の同意を求めることについて→ノーベル化学賞受賞の下村脩氏を名誉県民に選定する

●長崎県教育委員会の委員の任命について→御厨和子（62才）
山崎滋夫（69才）再任

◆動議

100条委員会を設置

●大学発ベンチャー創出事業に関する調査特別委員会の設置を求め全会派、全議員賛成し100条委員会を設置した

★調査事項

(1)長崎県及び長崎県産業振興財団からのバイオラボ社への1億円の出資金および補助金の交付に関する事業執行内容

(2)バイオラボ社の経営破綻に陥るまでの県当局及び長崎県産業振興財団の関与について

◆意見書（6件）

●私立学校施設の耐震化及び私学の活性化の推進について

●地方消費者行政の抜本的拡充に必要な法制度の整備及び財政処置について

●私立幼稚園に対する助成制度の充実について

●JR不採用問題の早期解決について

●地域雇用対策の早急な実施について

●県内建設業の受注機会拡大及び県産品の優先使用について

◆その他　長崎県の課題

①県庁舎建設について
②高機能病院の設立について
③地方機関の再編について

総合交通・情報網整備促進特別委員会報告

特別委員会審査に臨む山口委員長

第5回の特別委員会を開催し「九州新幹線西九州ルート（長崎ルート）について」「離島航空路維持・存続について」「長崎～ソウル線の再開について」「長崎空港旅客ターミナルのリニューアルについて」「離島航路への燃油高騰の影響について」「幹線道路の整備について」「地上デジタルテレビ放送について」など現状を踏まえ将来展望と対策について審議を活発に行いました。

活動スナップ

新幹線　新鳥栖駅整備調査

伊木力ダム完成式、地元の皆さんと

今年も頑張る！改革21県議団